

第5期雄武町総合計画策定審議会専門部会報告（実施計画）

部会名【産業建設・環境部会】

- 【部会長】 倉本 守也
【部会長代理】 吉田 雄二
【部会員】 小谷 康一、片川 隆市、加藤 恵美子、土田 文雄、
中井 佳子、永山 満裕

【会議開催状況】

- ・10月1日（地域交流センター） 5名出席

【審議結果】

議論全体について

- ・実施計画事業の具体的な数字の詰めを行うのであれば、各産業団体とも十分に論議すべきであり、5年後の後期計画を審議する時の課題として、問題提起しておきたい。
- ・実施事業については、各産業団体とそれぞれ協議して、ある程度は話が煮詰まっているということなので、疑問な点はあるけれども総体的には理解できるという認識をしている。

基本施策4 商工業の振興

「中心商店街活性化事業」(P57)

- ・錦町商店街については、具体的に川の事業が進められ、実際に商店街に残る方、やめる方がはっきりしてから検討するということでは、順序が逆ではないか。こういった構想があるからここに残ったらいかがですか、という言い方もできると思う。

その他について

- ・町の予算編成において、各団体に対して新事業の要望調査をされていると思うが、これは今後も続けて行ってほしい。
5年、10年という長いサイクルの中で、当初は必要がないと思われたけれども、今後において事業の必要性が生じてくることも想定がされるので、そういった道だけは残しておいてほしい。

- ・実施計画事業に対する団体との協議については、予算の編成時期に合わせるのではなく、町と団体がお互いに早い時期から行えるよう配慮した方がよい。
- ・この前期実施計画については、決まりきったものではなく、ある程度の柔軟性を持ってくれるのか。事業の必要性が生じた場合、毎年見直しをかけられるのかどうか。計画の8割から9割はある程度決まっていて、予算としてはあまり動かせないように思われる。